

(3) 重点事項及び具体的方策

有機的に関連づけられた充実した教育活動を行い、学校教育目標の具現化を目指す。

領域	重点事項	具体的方策
学力向上	<ol style="list-style-type: none">① 外国語科・外国語活動の実践と研究の深化② 主体的・対話的で深い学びを目指した学習指導法の確立③ 家庭学習の充実による基礎・基本の着実な定着	<ul style="list-style-type: none">・ 県教育委員会からの研究指定(英語教育)を受け、小学校における英語教育(外国語科・外国語活動)の指導と評価の在り方について全職員で研鑽を深める。・ 昨年度までの研究成果を生かし、算数科における学び合いの学習スタイルを他教科にも敷衍し、児童の思考力・判断力・表現力の向上に生かす。・ 立花スタイルの定着を進め、児童の学習習慣の確立を目指す。・ 全国や県の学力・学習状況調査、到達度テスト等の分析により、実態に基づいた指導を工夫する。・ ICTの利活用を図り、分かりやすい授業を工夫する。・ 家庭学習の質と量の改善を図る。
心豊かな児童の育成	<ol style="list-style-type: none">① 一人一人を大切にし、個性を生かした学級づくり② 感性を育む体験活動の実施③ 道徳教育の推進といじめの根絶④ 立腰教育の推進	<ul style="list-style-type: none">・ 学級経営を基盤として友達を思いやる心を育成する。・ 校訓「た・ち・ば・な」の周知の徹底を図る。・ 感謝の心の醸成と挨拶の習慣化を図る。・ 道徳を要として、全教育活動において児童の感性を育む授業や活動を行う。・ 立腰を日常の活動として実施する。
人権・同和教育	<ol style="list-style-type: none">① 相手を思いやる心の育成② 人権・同和教育の授業実践③ 仲間づくりと協働精神の涵養	<ul style="list-style-type: none">・ 「人権・同和教育」の視点を踏まえた学級経営や授業実践を計画的に行う。・ 児童が豊かにつながる集会活動や体験活動の内容の充実を図る。・ ソーシャルスキルトレーニングを取り入れた活動を行い、児童の実践力を高める。
特別支援教育	<ol style="list-style-type: none">① 一人一人を大切にしたインクルーシブ教育の推進② 特別支援教育に係る研修の充実	<ul style="list-style-type: none">・ 障がいのあるなしにかかわらず、児童の困り感に配慮し、児童の主体的な取組を支援する。・ 児童の自立を目指した支援や指導の在り方について職員研修を充実させる。
生徒指導教育相談	<ol style="list-style-type: none">① 基本的な生活習慣の確立と自主自立的な態度の育成② 教育相談の研修及び児童への早期対応	<ul style="list-style-type: none">・ 月目標の具体的な実践化を図る。・ 予防を中心とした生徒指導の充実を図る。・ 連絡会で情報交換会を行い、全職員で「気になる子」への的確な対応を図る。また、SCや各種専門機関との連携を図り、相談しやすい体制づくりを行う。
健康教育	<ol style="list-style-type: none">① 体位の向上や体力づくりを目指す活動の充実② 自分の健康に関心を持ち、積極的に健康な体をつくらうとする児童の育成③ 家庭との連携による「食育」の推進	<ul style="list-style-type: none">・ 体育的行事や授業を通して、運動に親しむ態度を身に付けさせる。・ 自らの心身の成長に喜びを感じる子どもの育成を目指して、基本的な生活習慣づくりを推進する。・ 栄養教諭を中心として、各学年「食育」の授業を計画的に実施するとともに、保護者への啓発を行う。
安全教育	<ol style="list-style-type: none">① 命を尊び、自他の生命を守ろうとする態度の育成② 危機管理体制の強化	<ul style="list-style-type: none">・ 日々の交通安全指導や生活指導の充実を図る。・ 危険箇所の早期修理や定期的な安全点検を行う。・ 児童の危険予測・危険回避能力を高める。・ 職員の危機管理意識の向上を図る。
環境整備	<ol style="list-style-type: none">① 安全で、美しい学校づくり② 学校図書館の充実③ 感性を高め、学習意欲を喚起する環境づくり	<ul style="list-style-type: none">・ 児童の安全を第一に考えた環境の整備を図る。・ 学習センターとしての機能を持つ学校図書館を創る。・ 落ち着いた学習環境づくりと児童の感性を高める校内環境の工夫に努める。
地域・家庭連携	<ol style="list-style-type: none">① 児童、教師、親の学びが育つ学校の創造② 学校教育活動の積極的な情報発信	<ul style="list-style-type: none">・ 校内研究の充実を核に、児童はもちろん、教師も親も地域も伸びる取組を展開する。・ 語り合える育友会活動を構築する。・ 保護者への啓発資料の提供や相談体制の充実を図る。・ 幼保小、伊万里中校区四校の連携を推進する。・ 学校・学級通信、安心・安全メール、学校HP等の充実を図り、こまめな情報発信を心掛ける。

